

教科	外国語科
第5学年 『I can draw pictures well.』	
日時	令和8年7月1日(水)
授業者	太田 祐介
本時のねらい	「What can you do?」「I can ～.」などの表現を用いて、友達のできることにについて尋ねたり答えたりするとともに、リアクションや質問を交えながら対話を続ける。
キーワード	引き出す、聞き返す、もっと知る、つなげる、ひろげる
授業の実際 (本時の子供の姿)	リアクションゲームで既習表現に慣れ親しむ活動から始まり、子供は笑顔で英語を用いたやり取りを楽しみながら、本時の活動への期待を高めていた。交流①では、「What can you do?」「I can ～.」を用いて友達のできることを伝え合う姿が見られたが、一問一答で終わる場面も多く見られた。全体交流では、「質問するともっと友達のことが分かる」「リアクションがあると話しやすい」といった気付きを共有した。その後の交流②では、「Can you ～?」やリアクションを取り入れながら対話を続けようとする姿が増えた。振り返りでは、相手のことをもっと知るためには、リアクションや質問が大切であることを実感する子供が多く、対話を通して友達への理解を深める授業となった。
事後協議の概要	事後協議では、次の3点について協議を行った。1点目は、活動と活動のつながりについてである。リアクションゲームから交流、全体交流、再度の交流へと学びがつながる授業構成となっており、子供が目的意識をもって活動できていたことが評価された。2点目は、子供が文法的に誤った表現を用いた際の対応についてである。教師が正しい表現を自然なモデルとして示すことの重要性が共有された。3点目は、子供の発話の自立についてである。掲示物を段階的に減らすなど、相手を見て自分の言葉でやり取りできるようにする手立てについて協議を行った。

